

〔ワセシロ〕



ワ セ シ ロ

登録番号 ばれいしょ農林20号

登録年月 昭和49年7月

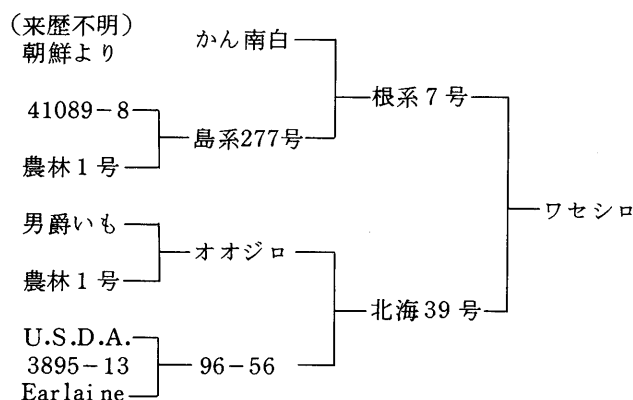
旧系統名 ばれいしょ根育11号

育成場所 道立根釧農業試験場

1. 来 歴

根釧農試において、昭和37年「根系7号」（かん南白×島系277号）を母、「北海39号」（オオジロ×96-56）を父として交配後、育成選抜を加え、昭和40年から「K 62144-7」、昭和42年から「根育11号」の系統名で各種試験に供して来たものである。昭和49年7月「ばれいしょ農林20号」として登録された。

（系 統 図）



2. 形 態 的 特 性

茎長は「男爵いも」より高いが、低い方に属する。草型はやや開いている。茎数および分枝は少ない。萌芽時の葉色は濃緑であるが、生育が進むと淡緑となる。小葉は大きい。花色は紫である。茎翼はやや波である。茎の着色は「紅丸」より濃い。

塊茎の形は偏卵、皮色は淡黄白色である。目の深さは中で「農林1号」程度である。

3. 生 態 的 特 長

茎葉の枯ちようは、疫病に弱い「男爵いも」より数日おくれ、塊茎の肥大では早い早生種である。疫病抵抗性遺伝子 R₁ を保有するため、疫病の初発生は「男爵いも」より数日おくれるが、ほぼ同品種程度の罹病経過を示す。

塊茎の着生ならびにその後の肥大は早く、早生としてはごく多収である。でん粉価は「男爵いも」より約1%高く、15%前後である。いも肌、外見がよく、市場価格の高い大粒の割合が多い。塊茎の分布は中で、匍枝の離れはよい。

中心空洞や裂開はほとんどみられない。塊茎の二次生長は中で、土中で新しいもから萌芽する型のものはごく少ない。

早掘りでは密植により増収するが、施肥量や栽培密度の影響はうけ難い方である。

軟腐病、塊茎腐敗などの発生は、一般品種並である。ウイルス病では、Yウイルス病の発生が少なく、罹病によりストリーク症状を示し、その他では「農林1号」程度である。夏疫病、菌核病、粉状そうか病には、中～やや弱い。乾腐病には弱い。

収穫作業は、塊茎が大粒で匍枝の離れがよいため容易である。休眠は「農林1号」よりやや長い。

4. 調理加工特性

水煮では「男爵いも」より煮上がりが早く、肉の黒変が少ない。舌ざわりがよく、甘味は同等ないしややよい。収穫時はやや粉質であるが、しだいに粘質を増す。シュースtringなどの油加工適性は、比較的早期から良好となり、塊茎の肥大が早いので、早出しで有利となる。フライおよびチップは、貯蔵温度、貯蔵期間、およびリコンデショニングの期間や条件に左右されるが、早掘りでは明らかにすぐれ、普通掘りでは「男爵いも」と同等ないしややよい。諸調理加工を通じて大粒で、でん粉価が高いため、製品歩留りが高い。

5. 適地

北海道全城

6. 奨励品種採用県

青森県（昭和54年）、岩手県（昭和56年）

7. 栽培上の注意

「男爵いも」に準じて行う。

なお、皮色が白いので、緑化の発生しやすい場合や、水洗いした場合などで傷が多いと、それが目立ちやすいので、畑の整地培土および取扱いなどを丁寧に行うことが望ましい。粒形がくずれやすいところや、市場の好みから大粒を望まない場合には、栽植密度を高めて加減する。また、塊茎の肥大が早く、加工適性も比較的早期に向上するので、早出し栽培などでは、収穫の時期を失しないようにする。

8. 試験成績

(1) 育成地における成績

ア 茎葉形態

品 種 名	叢性	茎 色	葉 色	葉 大	花 色	花 数	花 粉
ワセシロ	や開	緑に赤紫	淡	大	紫	微	やや少
男爵いも	直	緑に淡赤	やや濃	中	淡赤紫	少	〃
農林1号	〃	〃	〃	〃	白	中	少

イ 塊 茎 形 態

品 種 名	分 布	形 状	皮 色	目	粒 揃	大 小	外 見
ワ セ シ ロ	中	偏卵	淡黄色	中	ごく良	大	優
男 爵 い も	密	偏球	黄 白	や深	や良	やや小	や良
農 林 1 号	や密	偏卵	〃	中	良	大	良

ウ 生 育 調 査

品 種 名	萌 芽 期 (月日)	開 花 始 (月日)	疫 病 初 発 日 (月日)	枯 ち ょ う 期 (月日)	生 育 日 数 (日)	茎 長 (cm)
ワ セ シ ロ	6. 16	7. 18	8. 6	9. 10	114	62
男 爵 い も	18	+-	7. 24	5	109	51

エ 収 量 調 査

品 種 名	10 a 当 た り				一 個 重	で ん 粉 価	で ん 粉 重	比
	中いも以上	比	収 量	比				
ワ セ シ ロ	(kg) 2,648	(%) 163	(kg) 2,985	(%) 137	(g) 105	(%) 15.4	(kg) 426	(%) 155
男 爵 い も	1,620	100	2,223	100	74	13.9	286	100

注 昭和42～48年平均。

オ 生 育 追 跡 試 験 (昭 和 45 ～ 47 年 平 均)

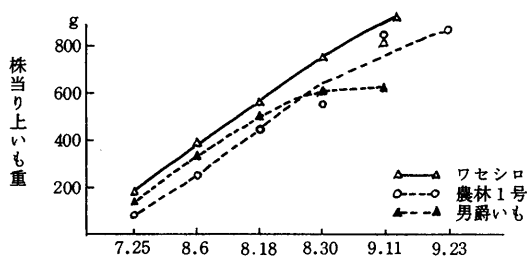


図 1 上いも重の推移

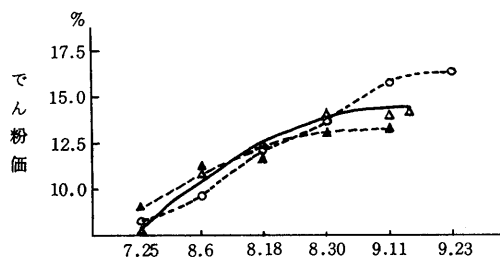


図 2 でん粉価の推移

(2) 特 性 検 定 試 験

検 定 名	項 目	ワセシロ	男爵いも	実施場所
疫 病 抵 抗 性	抵抗性遺伝子型	R ₁	r	道立中央農試
塊 茎 腐 敗 抵 抗 性	判定(昭和45年)	強	弱*	〃
〃	〃 (昭和47年)	やや弱	弱	道立十勝農試
葉 巻 病 抵 抗 性	発 病 率 (昭和44～45年)	20.0	44.1*	道立中央農試
Y ウ イ ル ス 抵 抗 性	病 徴 (昭和44～45年)	えそ～軽い モザイク	えそ～軽い モザイク*	〃
ウ イ ル ス 病 抵 抗 性	葉 巻 病 罹 病 率 (昭和45～46年)	95.9	92.0	岩手農試
〃	ウ イ ル ス 罹 病 程 度 (昭和45～46年)	中～やや低い	中～やや低い*	〃
軟 腐 病 抵 抗 性	総 合 判 定 (昭和44～46年)	中～強	弱～やや強	福岡農試
ネ グ サ レ セ ン チ ュ ウ 抵 抗 性	判 定 (昭和44～46年)	弱	強	長崎農試

*印 農林1号

9. 配付先における成績

(1) 試験機関における成績

ア 普 通 掘

場 名	品 種 名	枯ちよ う 期 (月日)	10 a 当たり		1 個重 (g)	で ん 粉 価 (%)	10 a 当たり	
			収 量 (kg)	比 (%)			でん粉重 (kg)	比 (%)
北 農 試	ワ セ シ ロ	8. 28	2,806	107	140	16.3	422	110
	男 爵 い も	27	2,629	100	88	15.6	385	100
中 央	ワ セ シ ロ	9. 5	3,592	109	108	14.5	492	117
	男 爵 い も	8. 31	3,281	100	97	13.6	409	100
上 川	ワ セ シ ロ	9. 15	3,828	112	127	16.9	611	133
	男 爵 い も	5	3,347	100	97	14.3	446	100
北 見	ワ セ シ ロ	9. 9	4,135	102	153	15.2	593	114
	男 爵 い も	8	4,037	100	104	13.8	516	100
十 勝	ワ セ シ ロ	9. 3	3,207	111	114	16.7	507	125
	男 爵 い も	3	2,928	100	74	15.1	409	100
天 北	ワ セ シ ロ	9. 2	3,087	119	121	14.6	420	120
	男 爵 い も	1	2,531	100	95	14.4	339	100
根 釧	ワ セ シ ロ	9. 11	3,233	127	111	14.8	448	139
	男 爵 い も	5	2,506	100	79	13.8	318	100
平 均	ワ セ シ ロ	9. 6	3,377	114	124	15.7	496	125
	男 爵 い も	3	2,997	100	88	14.4	399	100

注 昭和44～48年平均、根釧のみ昭和42～48年の平均を入れて計算。

イ 早 掘 り

場 所 名	品 種 名	年 次	収 穫 日 (月日)	10 a 当たり		10 a 当たり		一 個 重 (g)	でん粉価 (%)
				中いも以上 (kg)	比 (%)	収 量 (kg)	比 (%)		
北 農 試	ワ セ シ ロ	昭44～48	7. 31	—	—	1,994	110	—	14.4
	男 爵 い も		31	—	—	1,808	100	—	15.1
上 川	ワ セ シ ロ	48	8. 25	3,350	118	3,508	102	133	14.4
	男 爵 い も		25	2,835	100	3,432	100	104	14.2
北 見	ワ セ シ ロ	47～48	8. 26	—	—	3,911	98	132	15.0
	男 爵 い も		—	—	—	3,971	100	112	13.9
十 勝	ワ セ シ ロ	47～48	8. 21	3,156	114	3,378	107	131	16.3
	農 林 1 号		21	2,752	100	3,150	100	89	16.4

(2) 現地市町村における成績

市町村名	枯ちよう期 (月日)		10 a 当たり収量 (kg)			でん粉価 (%)	
	男 爵 い も	ワ セ シ ロ	男 爵 い も	ワ セ シ ロ	男 爵 い も 比	男 爵 い も	ワ セ シ ロ
亀 田 市	—	—	2,787	2,908	104	—	—
蘭 越 町	8. 27	9. 10	2,119	3,348	158	11.1	12.5
南富良野町	27	2	1,985	2,861	144	13.9	15.5
佐呂間町	23	5	3,333	3,969	119	13.2	13.8
常呂町	9月上旬	9月上旬	4,197	4,334	103	13.5	14.8
網走市	9. 5	9. 15	2,778	3,312	119	13.7	13.1
斜里町	10	1	3,548	3,560	100	13.5	13.6
清里町	3	5	4,277	4,440	104	14.0	15.4
士幌町	7	16	3,540	3,930	111	13.7	11.4
釧路市	2	9	2,209	3,894	176	—	—

10. 育成従事者

年 次	世 代	従 事 者
昭和 37 年	交 配	金子一郎, 浅間和夫, 上野賢司
38	実生養成	" " "
39	個体選抜	" " "
40	系統選抜	" " "
41	生検予備	" " " , 村上紀夫
42	生産力検定	浅間和夫, 上野賢司, 村上紀夫,
43	"	" 伊藤平一 " , 伊藤 武
44	"	" " " "
45	"	" " " "
46	"	" " " "
47	"	" " " "
48	"	" " " "